



新着位置画像の拡張仕様について

対象：BathyScaphe 2.1 以降

BathyScaphe 2.1 以降では、新着位置画像の新しいスタイルをサポートします。3つの画像をセットで用意することによって、スレッドビューの横幅が変化しても、常にスレッドビューの横いっぱいに表示されるような新着位置画像を作成することができます。この文書では、そのような新着位置画像の作成方法を説明します。

用意するもの

新しいスタイルで新着位置画像を作成するには、3つの画像ファイルを用意してそれぞれ次のように名前を付けます（拡張子は省略しています。BathyScaphe は tiff, png, jpg, pdf など多くの一般的な画像フォーマットを認識できますから、好みのフォーマットで作成してください）：

Left	lastUpdatedHeader Left
Middle	lastUpdatedHeader Middle
Right	lastUpdatedHeader Right (optional)

参考 lastUpdatedHeaderRight ファイルは、新着位置画像のデザインに応じて作成を省略することができます（詳しくは次の「描画の仕組み」節を参照してください）。

作成した3つのファイルを、`$HOME/Library/Application Support/BathyScaphe/Resources/` に配置して BathyScaphe を起動すると、この新着位置画像が使用されるようになります。

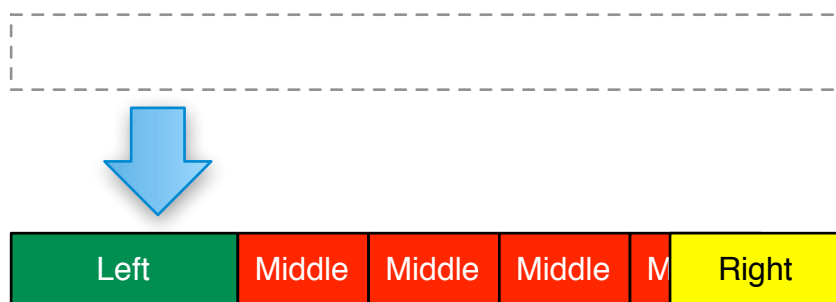
描画の仕組み

3つの画像がどのように描画されるかのイメージを下図に示します：

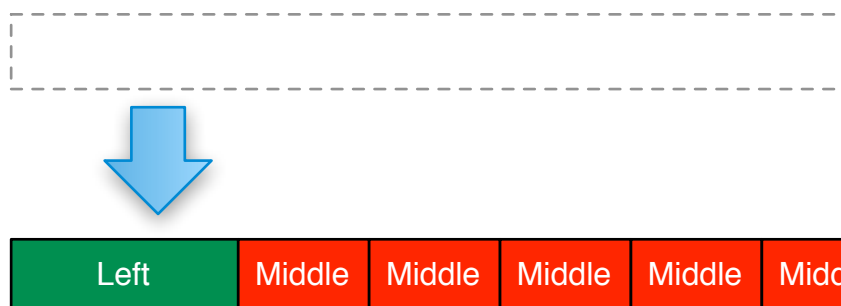


描画領域は、スレッドビューの横幅に等しい横幅と、lastUpdatedHeaderLeft ファイルの画像の高さから成る長方形領域となります。まず、左端に lastUpdatedHeaderLeft ファイルの内容が配置されます。次に、右端に lastUpdatedHeaderRight ファイルの内容が配置され、残った中間の領域に、lastUpdatedHeaderMiddle ファイルの内容が繰り返し配置されます。

スレッドビューの横幅によっては、下図のように lastUpdatedHeaderMiddle ファイルの内容が途中で切れてしまう可能性があります。画像のデザインによっては、これは望ましくない描画結果かもしれません：



このような問題を避けるには、lastUpdatedHeaderRight ファイルを用意しないでください。lastUpdatedHeaderRight ファイルが存在しない場合は、下図のように左端に lastUpdatedHeaderLeft ファイルが配置された後、残りの領域に lastUpdatedHeaderMiddle ファイルが繰り返し配置されます：



これまでの新着位置画像の取り扱い

これまでの新着位置画像（lastUpdatedHeader）も引き続き使用できます。描画方法についても、以前のバージョンからの変更はありません。

参考 \$HOME/Library/Application Support/BathyScaphe/Resources/ に lastUpdatedHeader ファイルと lastUpdatedHeaderLeft (-Middle, -Right) ファイルの両方が存在する場合、lastUpdatedHeaderLeft (-Middle, -Right) が優先して使用されます。

2012-01-30 更新

© 2005-2012 tsawada2 & BathyScaphe Project. All rights reserved.
BathyScaphe には“全く何の”保証もありません。ご使用は自己責任でお願いします。

このドキュメントには正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や、制作上の誤記がないことを保証するものではありません。

BathyScaphe Project
bathyscaphe.sourceforge.jp